



※表紙については35ページの一喜一憂をご覧ください。

スポレク“エコとちぎ”2011 ラージボール卓球大会



11月6日(日)~8日(火)、大沢体育館で全国スポーツ・レクリエーション祭(以下、スポレク祭)ラージボール卓球大会が開催されました。スポレク祭とは、勝敗のみを競うのではなく、誰もが気軽に楽しみ交流を深めることを目的に毎年開催されているスポーツとレクリエーションの祭典です。

大会には県内から6チーム、全国から44チーム、また日韓交流事業として韓国から2チームが参加。日光鹿沼チームの選手による選手交流宣言の後、340名の選手の皆さんは、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、どのコートでも白熱した試合が繰り広げられました。また大会期間中、選手の皆さんは試合の勝敗はさることながら、試合開始前にご当地ならではの品を交換したり、試合後にはお互いの健闘をたたえ握手を交わしたりするなど、スポーツを通して友情を深め、交流の輪を広げていました。



慶州市長・市民交流団来訪

10月28日(金)、崔良植慶州市長、趙南立慶尚北道観光協会会長が日光市役所を訪れ、日光市長などと会談しました。慶州市(大韓民国)とは平成21年11月11日に観光友好都市の盟約を結んでおり、観光などの分野を中心とした交流を行っています。

その後、崔市長一行は、20名の市民交流団の皆さんとともに、朝鮮通信使今市客館跡碑がある杉並木公園内に、交流の記念として緑起が良く長寿の象徴とされるアカマツを植樹。慶州・日光両市長は、今後両市がアカマツのように未永く発展し、また両市の交流が続いていくよう、一層友好を深め、協力していくことを確認しました。崔市長一行と市民交流団の皆さんは、それぞれ日光の自然や歴史、文化などに触れ、日光への理解を深めていきました。



川俣新そば祭

11月6日(日)、川俣温泉運動場で、恒例の新そば祭が開催されました。時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、出来たての温かいそばや鴨の串焼き、岩魚の塩焼き、採れたてのワサビ、山菜などの加工品が店先に並び、そば打ち体験も行われました。



またメインイベントであるそばの早食い競争は、男性の部、女性の部に分けて開催。「きれいに食べないと失格」というルールの下、盛りそば3枚分を食べる早さを競いました。

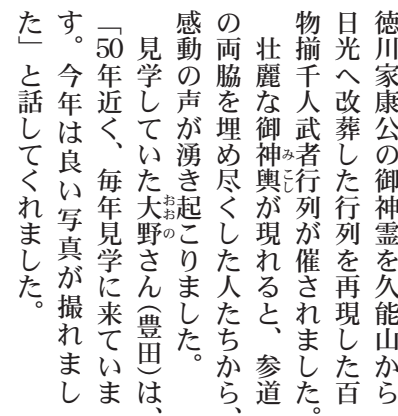
男性の部は盛りが多く、参加者はかなり苦戦の様子。参加した西山洋一さん(宇都宮市)は、「新聞で祭を知りました。量が多かったけどおいしいそばでしたし、紅葉もきれいで、来たかいがありましたね」と話してくれました。



川治温泉朝市

10月の毎週日曜・月曜日に、川治ふれあい公園で朝市が開催されました。この朝市は、約20年の歴史があり、5月と10月の観光シーズンに行っています。

地元の民宿などが手作りの山椒みそやくりおこわ、新鮮な野菜、果物など数多くを出品しています。商品を試食し、品選びをする観光客と出店者が、お互い楽しそうに談笑している姿が印象的でした。



百物揃千人武者行列

10月17日(月)、日光東照宮で、徳川家康公の御神霊を久能山から日光へ改葬した行列を再現した百物揃千人武者行列が開催されました。壮麗な御神輿が現れると、参道の両脇を埋め尽くした人たちから、感動の声が湧き起こりました。

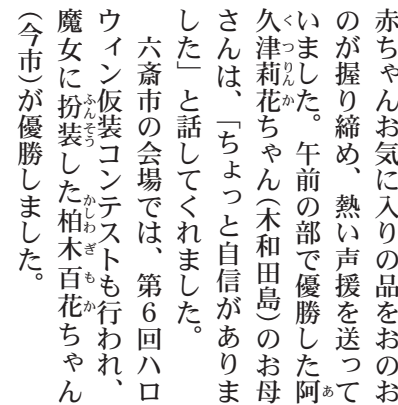
見学していた大野さん(豊田)は、「50年近く、毎年見学に来ていますが、今年は良い写真が撮れました」と話してくれました。



赤ちゃんハイハイ選手権&ハロウィン仮装コンテスト

10月15日(土)、第10回赤ちゃんハイハイ選手権大会が開催されました。この大会は、毎月第3土曜日にJR今市駅前通りで開催されている六斎市の一環で、毎年春と秋に行われています。今回は雨のため、ショッピングプラザ日光で36名が参加して行われました。

大会では、畳6枚のコースでハイハイの速さを競います。ゴール地点で赤ちゃんを呼ぶ保護者は、おもちゃやテレビのリモコンなどが握り締め、熱い声援を送っていました。午前の部で優勝した阿久津莉花ちゃん(木和田島)のお母さんは、「ちよっと自信がありました」と話してくれました。



六斎市の会場では、第6回ハロウィン仮装コンテストも行われ、魔女に扮装した柏木百花ちゃん(今市)が優勝しました。

今市屋台まつり



10月16日(日)、今市中心市街地大通りの春日町交差点から小倉町交差点までを通行止めにして、今市屋台まつりが開催されました。

屋台を地域で守り、引き継ぎ、中心市街地活性化につなげるために始まったまつりも、今年で3回目。沿道には、造花などで飾られた華やかな花屋台4台と、6台の彫刻屋台が繰り出しました。江戸時代後期から明治初期のころに制作されたといわれている彫刻屋台は、全て白木造りで、唐破風と呼ばれる屋根を持ち、花や鳥、龍などの彫刻が施されています。

まつりは、2台の屋台が向き合ってお囃子を競い合う「ぶつつけ」の披露や、屋台の引き回しが行われ、大勢の人たちでにぎわいました。また、辺りが暗くなると、屋台のちょうちんに明かりがともされ、午後7時ごろまで笛や太鼓のお囃子と、威勢のいい掛け声が、まつりを大いに盛り上げました。

